

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立汐路中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒467-0006
名古屋市瑞穂区御荻町4の16
 E-mail : shioji-j@nagoya-c.ed.jp
 Website : www.shioji-j.nagoya-c.ed.jp/
 児童生徒数：男子 275名 女子 268名 合計 543名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○ 視覚障害者体験について

1年生と3年生でブラインドウォーク体験を開催した。この体験では、目隠しをし、目が見えない状態で介助者の手を借りながら歩いた。この体験をした生徒の感想には、「少しの段差や道にある自転車や電柱などの障害物がこわいと思った。」や「道や階段がやけに長く感じるし、何があるかわからないから、とても不安だった。」というものが多くあった。また、介助の体験をした人の感想には、「介助するのは難しいと思ったけど、介助される側の気持ちになることが大切で、相手により分かりやすい言葉で説明をすることが大切だと思った。」といった内容のものが多くあった。

○ 高齢者疑似体験について

1年生と3年生で開催をした。福祉協議会から装具を借りて高齢者疑似体験を行ったり、高齢者の方からの講演を聴いたりした。生徒は、体験や講話から高齢者の方の気持ちを理解することができ、高齢者の方との接し方について考えるとともに、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

○ 車椅子体験学習について

1年生で開催をした。車椅子の乗り降りや介助の仕方などについての講演会を聴いたり、40台の車椅子を借りて、障害のある方の視線で学区を巡る体験学習を行ったりした。生徒は車椅子に乗る役や介助する役を交代で行い、自分がふだん何気なく生活をしている地域が、実は車椅子で生活をしている人にとって不便な場所があることを感じるとともに、車椅子で移動するときの怖さを実感し、困っている人に対して声を掛けたり手伝ったりすることの大切さや、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

○ 職場体験学習について

キャリア教育の一環として行ったが、販売業や飲食店で様々なお客さんの事を考えた商品の陳列方法や接し方等の体験をし、「接客をするということは、相手の事を第一に考え、常に周りに気を遣っていくことが大切であると感じた。」と感想をもつ生徒がいた。また、高齢者福祉施設で高齢者の方との会話や職員の仕事の補助を体験し、「生活に不自由に感じる場面について話を聞き、どうすればそのことが解消されるのか考えさせられるものであった」と感想をもった生徒もいた。

これらの活動を通して、生徒は相手を思いやることの大切さ、誰もが過ごしやすい社会をつくっていくことの大切さなどについて考えることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）